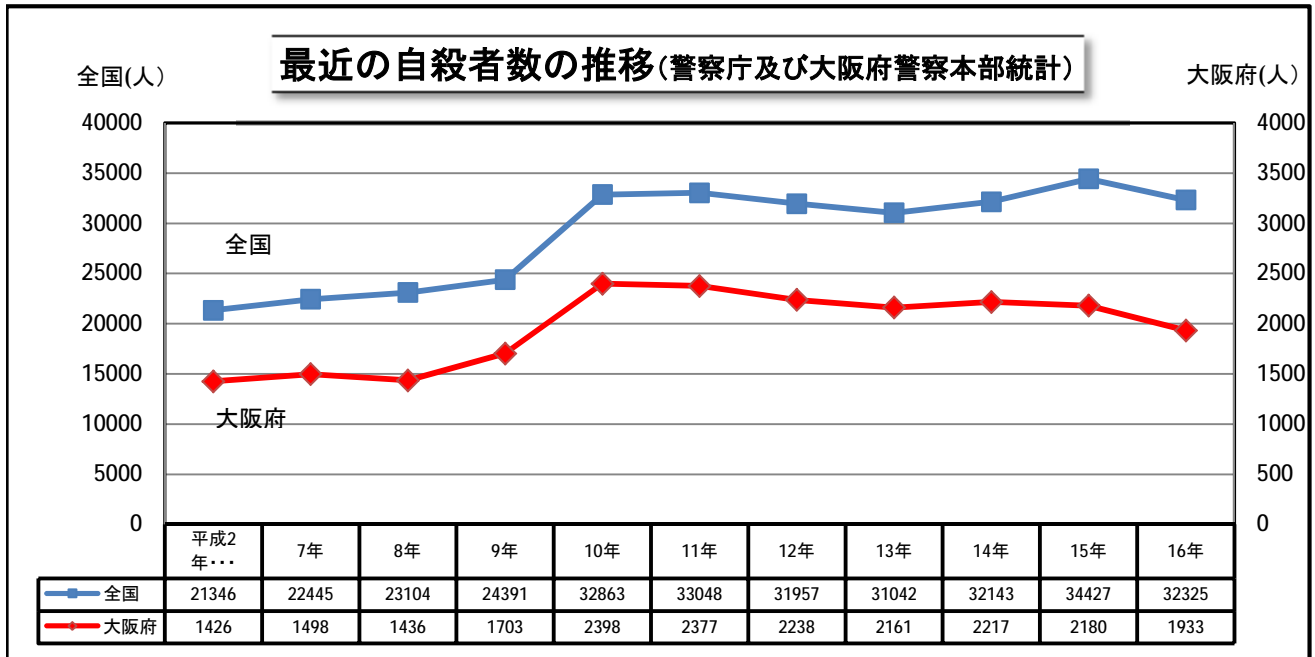
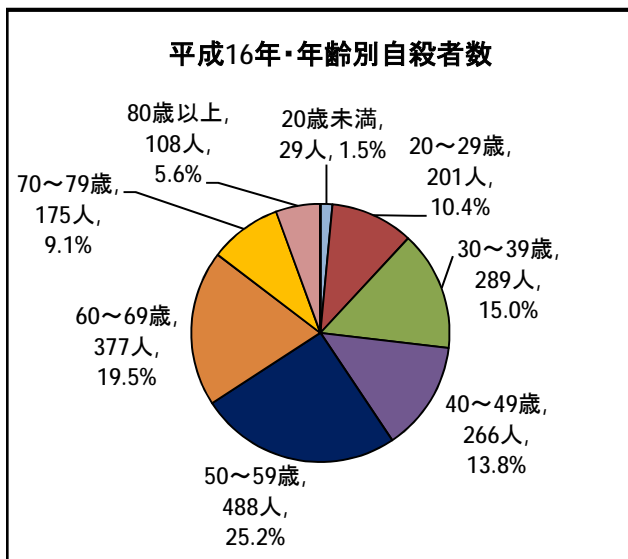


大阪府の自殺の概要<平成16年>

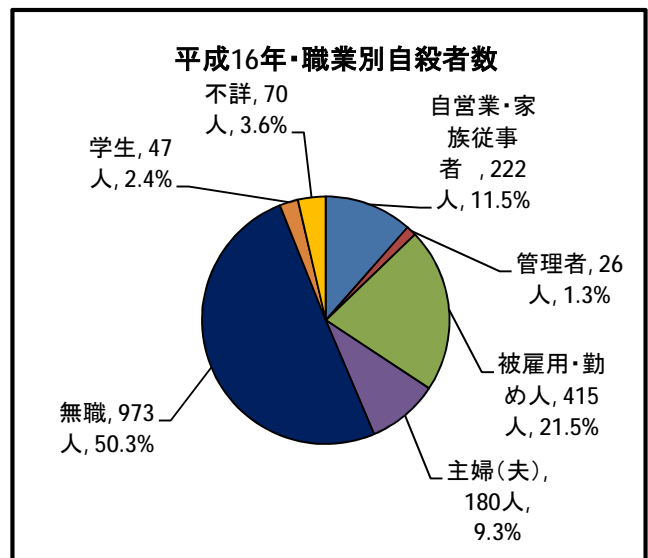
※警察庁及び大阪府警本部統計



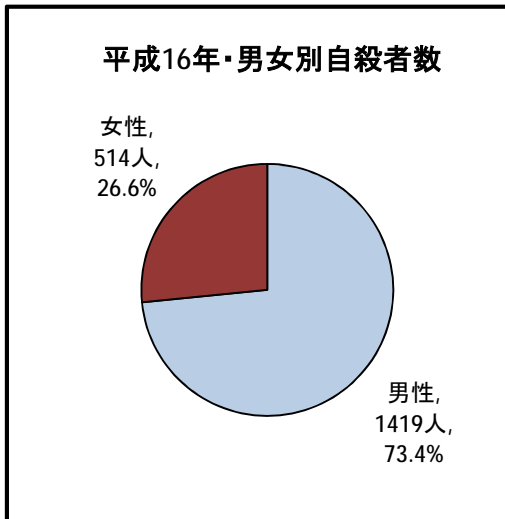
全国の平成16年の自殺者数は32,325人と、昨年よりも減少しています。大阪府においても1,933人と、平成9年以来2,000人を下回りました。



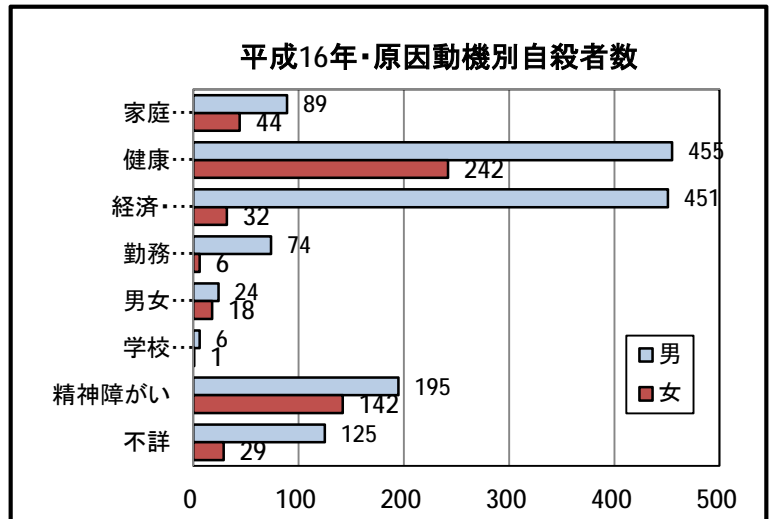
大阪府の平成16年の年齢別自殺者数の割合は、50代が488人(25.2%)、60代が377人(19.5%)、30代が289人(15.0%)、40代が266人(13.8%)、20代が201人(10.4%)、70代が175人(9.1%)の順になっています。



大阪府の平成16年の職業別自殺者数の割合は、「無職」が1,973人(50.3%)と昨年と同様に半数を超えています。昨年と比べて、「被雇用・勤め人」が415人(21.5%)、「主婦(夫)」が180人(9.3%)、「学生」が47人(2.4%)の割合が少し高くなっています。



大阪府の平成16年の男女別自殺者数は、男性が1,419人(73.4%)、女性が514人(26.6%)と、男性が女性の2.5倍以上の数になっており、昨年とほぼ同様の割合になっています。



大阪府の平成16年の原因・動機別自殺者数は、男性は「健康問題」が455人と最も多く、次いで「経済・生活問題」が451人となっていて、昨年の順と逆になっています。女性は「健康問題」が242人、次いで「精神障がい」が142人と、昨年と順に変化はありません。